

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2013.4.15 第28号

■第6回通常総会を開催 詳しくは裏面の特集で!

2月17日、中沢区集会場で通常総会を開催し、5議案が審議されました。いずれも満場一致にて可決承認され、新年度の事業がスタートしています。

- (1)平成24年度の事業報告、事業収支決算及び会計監査報告について
- (2)「福寿草保護管理委員会」との合流について
- (3)定款変更について
- (4)平成25年度の事業方針、事業計画及び事業収支予算について
- (5)役員改選について



■“とみさと市民活動フェスタ” 地域活動の見本市! みんなの力でつくる 元気なとみさと



「みんなの夢の木・山桜」は市民の夢で満開!

屋外では豚汁や綿あめの無料サービスが

3月9日、富里中央公民館で、富里市で初めての市民活動フェスタが行われ、多くの市民が会場を訪れました。

1階のロビーは、社会貢献活動を行っている27団体の展示ブースが屋台のように並び、賑やかでした。私達のブースでは、活動写真や昆虫標本などを展示して参加者の注目を集め、多くの質問を受け、又、入会申込する人もありました。

2階では、私達を含む8団体が日頃の活動をアピール。そのほか体験コーナーでは、昔遊びや朗読、スポーツ吹き矢などが行われ、若い親子にも人気でした。

会場内で多くの団体や人との交流を行う事が出来て、このイベントは「協働のまちづくり」の架け橋になったと思います。



工夫を凝らした展示やユニフォームに注目が...



未来の昆虫博士と元昆虫少年

▲二瓶太陽君(6才)と光星君(3才)

■「亀成川を愛する会」との交流会

3/31(日)、印西市の千葉ニュータウンに接する区域で、川の再生や草原の生態系保全に取り組んでいる「亀成川を愛する会」の皆様へ、私達の活動拠点をご案内しました。フクジュソウ、カタクリ、センダイタイゲキは、ほとんどの方が初めて目にされたようで、興味津々の様子でした。天神谷津では、ホタルの発生環境や谷津の保管理の方法について、鋭い質問が次々に飛んで来ました。又、昼食会場では、スライドショーでお互いの活動紹介を行い、意見交換の場となりました。抱えている問題点は共通するものが多いようです。

自然大好き、生きもの大好きの皆様へ、「是非、ホタルシーズンに...」とお誘いし、今後の継続的な交流をお願いしました。私達にとっては、とても楽しく、とても有意義な一日となりました。



天神谷津入口で



大和のフクジュソウ自生地



▲久能のセンダイタイゲキ自生地



中沢区集会場で活動紹介

●春の植物調査

今年から私達の活動に加わった希少植物の調査保護。3月上旬から4月上旬、各自生地で、個体数調査などを行いました。どの自生地でも好結果が得られました。

特に、大和地区のフクジュソウ群落では、約1,300株を確認し、昨年より30%も増え、調査を開始した5年前と比較すると、ほぼ倍増という結果となりました。このまま推移すると、フクジュソウの花で林床が黄色に染まるような景色を、意外と早く実現できるかも...と期待が膨らんでしまいます。



フクジュソウ



フクジュソウ自生地



カタクリ自生地



カタクリと個体数調査に使われた目串



センダイタイゲキ

●補助金と助成金、交付決定 事業内容は裏面参照

◆市民活動支援補助金(¥150,000)

...3月15日の補助金審査会を経て、4月1日に「採択」の通知がありました。(富里市)

◆自然環境保全活動支援事業助成金(¥180,000)

...昨年10月24日に申請後、3月4日に審査結果の通知がありました。(一般財団法人千葉県環境財団)

★天神谷津★

いのち 生命のにぎわい

ツマキチョウ(棲黄蝶)

3月も暖かい日になれば、早くもチョウが舞い始めます。谷津をヒラヒラと舞う白い蝶、モンシロチョウに交じって、このツマキチョウを見ることができます。飛ぶ姿はモンシロチョウに似るこの蝶は、よく見ると羽の先端が黄色、裏側は若葉を描いたような淡い緑の、美しい模様を持っています。春から秋まで見られるモンシロチョウと違い、3月から5月の春にだけ現れ、その後は幻のように姿を消してしまいます。派手さはないがきれいな色彩の羽を持ち、春の短い時を舞うこの蝶を、愛好家たちは「昆虫のスプリングエフェメラル(春の妖精)」と呼んでいます。幼虫の食草はタネツケバナ、ナズナなどの野生種や、ダイコン、カラシナなどの栽培種で、花や果実を好んで食べます。夏から冬の間は蛹で過ごし、翌春の羽化に備え、じっと春を待ちます。天神谷津にもこの蝶は沢山います。「春の妖精」を見たい方は5月まで。白い蝶たちがいたら、じっと観察してみてください。その中にきっと妖精を見つけ出すことが出来るはずです。(文:山崎 卓)



(写真:インターネットより)

会員紹介

小松 新 さん (53才)



こんにちは、2月に入会した小松新です。佐倉市在住で、成田空港に勤務しています。以前は佐倉市の「草笛の丘」で、ボランティアとして蝶の飼育の手伝いをしていました。現在は、成田西陵高校の地域生物研究部でボランティアを行っています。4月から10月の第4土曜日に行われる一般公開日には、南方系の蝶を200頭程飛ばしています。県立高校のため、運営にはお金がかからないので、県内の施設(南房パラダイス、市川生物園)の協力を得ながら活動しています。

昨年11月、柏市で実施された「自然観察指導員講習会」の受講中、事務局長の岡本さんに声をかけて頂いたことが入会のきっかけとなりました。入会后、希少植物の保護管理活動や、天神谷津での環境保護活動に参加させて頂き、こんな身近に生物多様性に富んだ環境があることに驚きました。

今後は、会の活動のお手伝いをしながら、次世代の人たちに自然保護の大切さを伝えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル へのアクセスお待ちしています!! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161

現在の会員数: 0154

事務局メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp